



外付け芯温センサーの取り付け

2012 年 5 月 2 日



2 時間



ドリル (3.2mm、16.2mm)、
標準工具



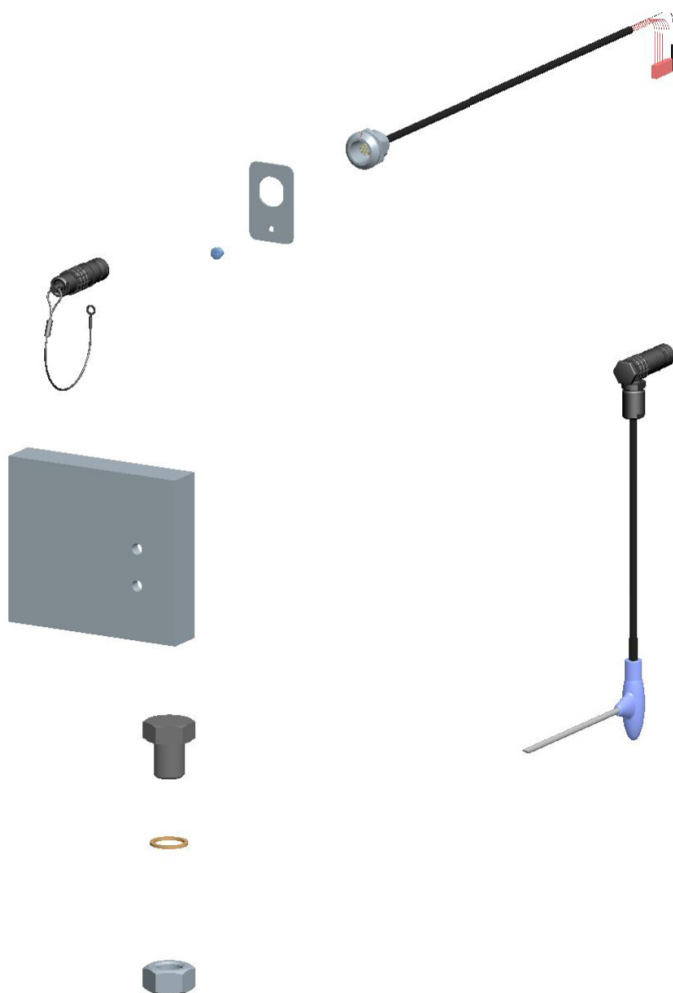
SCC - SCC_WE EG

この情報を貴社サービス部門の全員に配布してください。

以下の 2 種類のキットをご利用いただけます。

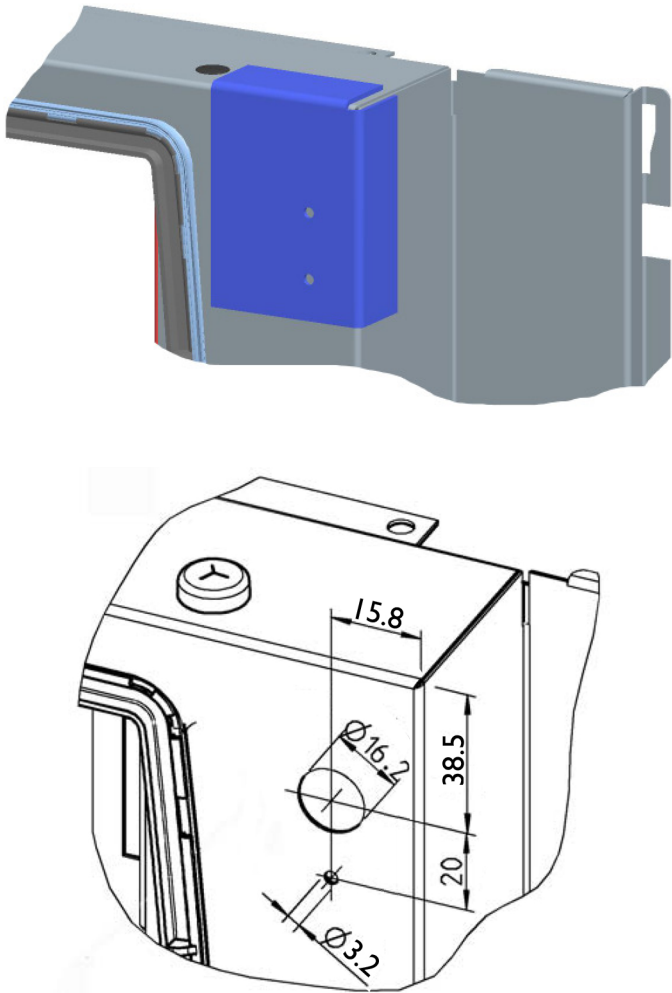
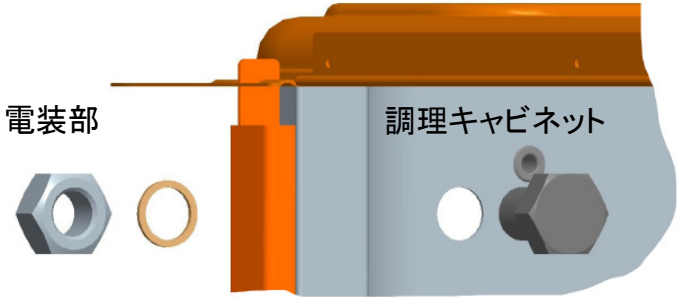
87.00.542 SCC /SCC_WE 61-102 EG

87.00.543 SCC /SCC_WE 201.202 EG

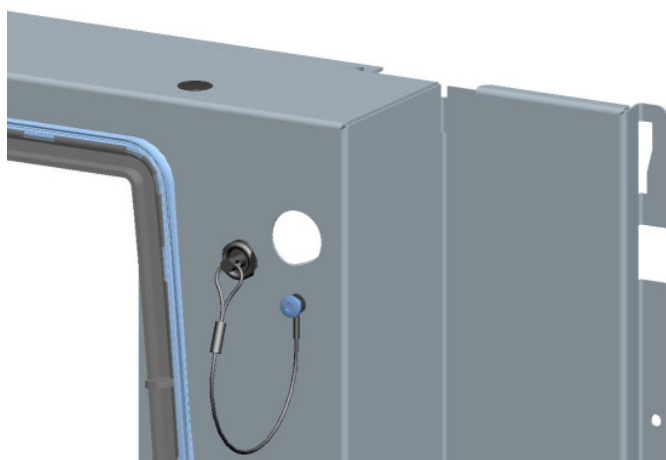
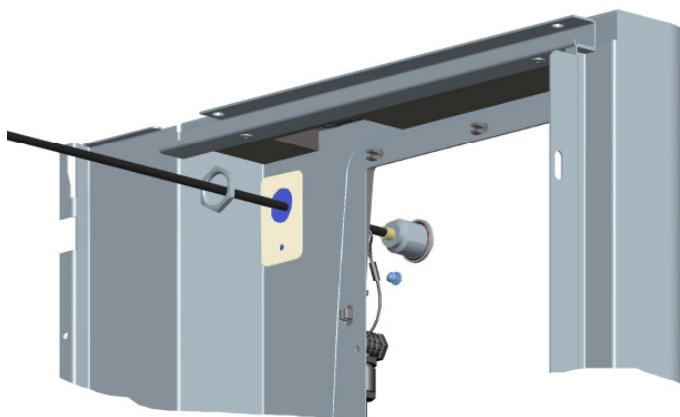


キットの構成:

名称	部品番号
- SCC 機器用ソケット	40.01.832
- SCC 機器用ソケット	40.01.833
- 61-102 用芯温センサー	40.01.842
- 201-202 用—芯温センサー	40.01.843
- テンプレート	16.01.055
- プラグ	40.01.827
- ネジ M16	1016.0700
- リベット	10.00.515
- 固定パネル	16.01.054
- 銅製ワッシャー	1315.0104
- ナット M16	1116.0160

1.	機器の電源供給を止めます。	
2.	サービスパネルと左サイドパネルを開き、必要であればトップカバーを外します。	
3.		<p>取り付け方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> 操作パネルの右上隅にテンプレートをはめ、2つのポンチ穴を開けます。 上側の穴は直径 16.2 mm、下側の穴は直径 3.2 mm にします。
4.		<p>芯温センサーを機器から取り外します。</p> <p>次の部品を使って調理キャビネットの開口部を閉じます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネジ 銅製ワッシャー ナット <p>ネジ頭は調理キャビネット内、ナットおよび銅製ガスケットは電気キャビネット内になるように取付けてください。</p>

5.



- 固定プレートを操作パネルの内側に取付けます(ドリルで開けた穴を固定プレートの穴に合わせます)。固定プレートとリベット付きプラグを操作パネルにしっかりと固定します。
- ソケットからナットを外します。
- ケーブル付きソケットを上側の穴に取付けます。ソケットの印がトップカバーの方向を指しているようにしてください。
- ソケットと外したナットを一緒に操作パネルに固定します。
- ソケットの多配線のコネクターをオペレーター基板の X2 へ接続します。
元々ついていた芯温センサーの位置にプラグを取付けます。



ご希望に合わせて、芯温センサーをソケットに接続することができます。センサーの種類により自動的に基板に認識されます。

機器の電源を入れたときにはセンサーもソケットに接続されている必要があります。そうでない場合、センサーの不具合として、ブザーが鳴ります。

機器を使用しないときは、プラグにてソケットを閉じ、ソケットを破損や汚れから保護してください。